

令和5年度学校関係者評価委員会のまとめ

高浜市立南中学校

1 本年度の取組

年2回の学校関係者評価委員会を予定どおり実施できた。

第1回：令和5年5月24日（水）

第2回：令和6年2月 8日（木）

2 自己評価（評価項目 A:十分達成、B:達成しつつある、C:不十分、D:ほとんど達成できていない）

中期経営目標	短期経営目標	成熟度による成果指標	本記評価	
a 授業力向上	仲間とかかわることで自らの考えを深め、学び続ける意欲の醸成につながるよう、「学び合い」の授業の質を高める。	仲間とかかわりながら自らの考えを深めていくことができる授業	A	A
		学び続ける意欲の醸成	B	
b 学級経営力の向上	「級訓」「学級目標」を明確にし、一人一人の個性を生かしながら、集団としての成長につながる学級経営を行う。	一人一人の個性を生かした学級経営	B	B
		目標に向かって成長を続ける学級集団の育成	B	
c 集団の中で課題を発見し解決する力をつけさせる指導力の向上	「生徒自治」の精神を継承・発展させ、学校生活全般にわたってリーダーを中心に生徒主体で計画・運営・評価しながら活動できる機会と場を保障する。	生徒主体の室長会、生徒会の活動	A	B
		リーダーとフォロアーが協調した活動の展開	B	
d まちづくりへの協働・貢献	まちづくりへの生徒の主体的な関わりの場を保障し、地域と協働して活動する中で、地域の一員としての自覚を高める。	生徒が主体性を発揮しながら地域と協働する活動	B	B
		地域の一員としての自覚をもった姿	A	
特別な支援を要する生徒に対する指導体制の充実	指導組織の確立と実効性のある運用	特別な支援を要する生徒・不登校生徒の満足度		A
多忙化解消の推進	在校時間の縮減に向けて業務の見直しの推進	在校時間の縮減		B

3 次年度への課題・更新策

<授業力向上>

- ・「南中スタンダード」を見直したり、教科のシラバスを学習前に提示したりすることで、生徒ができたことを教員が生徒へフィードバックすることで、生徒自身が自らを振り返り、自己肯定感を高めたいけるようにする。
- ・研究テーマである「学び続ける南中生」を目指すために、新たな手だての「見直す」を追究することで、教師同士の「学び合い」の場を活性化させ、教員一人一人の授業力向上を目指す。

<学級経営力向上>

- ・学校行事は、生徒の個性の伸長や望ましい人間関係の構築、行事に対する自主的実践的な態度を育てるものである。教員は、目的意識をもって、行事に取り組む。
- ・学級目標の立て方を見直す。学級目標は、学校目標を意識した目標とし、「自己を高める」学級づくりを目指す。

<集団の中で課題を発見し解決する力をつけさせる指導力の向上>

- ・教員はファシリテーターとして、生徒が「学級のために・学年のために」と考えた「生徒自治」の精神を引き出すための場を作っていく。
- ・生徒がより自主的かつ主体的に行動できる場について、教員同士が話し合える時間・場を確保する。

<まちづくりへの協働・貢献>

- ・生徒にとって街路樹ボランティアは地域貢献活動の一つとなっている。校内において実施・計画されている地域との関わりのある場については、職員会などを通じて、地域との一員としての自覚を高める場であることを教員で共通理解し、指導にあたる。
- ・地域で開催されるイベント等の手伝いを推奨し、ボランティア精神の輪を広げていく。

<特別な支援を要する生徒・不登校生徒に対する指導体制>

- ・担任一人で抱えることなく、各学年の担当者、担任外の支援に関わる担当者によって定期的に情報共有の場が設定できており、指導体制が充実してきている。
- ・現職研修において、個に応じた指導法を学ぶ場を位置づけ、教員の指導力向上につなげる。
- ・生徒が抱える悩みは多様化している。学校だけでなく、外部との連携を密にし、対応の可能性を広げていく。

<多忙化解消の推進>

- ・会議や研修の見直しを図る。
- ・朝礼は極力紙面での確認とし、余裕をもって各自教室へ行けばよいというシステムを継続する。
- ・時間割を工夫し、学年会や会議を時程内に位置づける。

4 本年度の取組についての評価委員からの主な意見

- ・3年生の授業態度が落ち着いている。ICTなどを活用し、生徒に寄り添い、分かりやすい授業の工夫が見られた。1年生の英語の少人数指導もよい取り組みである。
- ・積極的・主体的という言葉が付くと生徒の自己評価が下がってしまう。生徒が自分たちのできていることやもっとこうしたいという思いを素直に表現できるようになると自己評価も上がるはずである。
- ・ボランティア部の取り組みは地域交流の一環として評価してよい。ボランティア精神は一生をかけて身につけていけばよいので、今すぐに結果を求めるのは難しい。

5 自己評価を踏まえての次年度の重点目標（案）

重点目標	
自立した大人になるための基礎づくり ー南中文化の向上ー	
a	授業力向上 「学び合い」を通して学ぶことの達成感、充実感を感じさせ、将来の自立した学びにつながる授業を展開する。→継続
b	学級経営力の向上 「級訓」「学級目標」を明確にし、一人一人の個性を生かしながら、集団としての成長につながる学級経営を行う。→学校訓「自己を高める」を意識し、自己肯定感、自己有用感が育つ学級経営を行う。
c	生徒自治力の向上 「生徒自治」の精神を継承・発展させ、学校生活全般にわたって、リーダーを中心に生徒主体で計画・運営・評価しながら活動できる機会、場を保障する。→継続
d	まちづくりへの協働・貢献 まちづくりへの生徒の主体的な関わりを保障し、地域と協働して活動する中で、地域の一員としての自覚を高める。→まちづくりへの生徒の主体的な関わりを保障したり、地域とつながっていることを意識した活動をしたりする中で、地域の一員としての自覚を高める。